

磐梯山の火山活動解説資料（平成 29 年 6 月）

仙台管区気象台
地域火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

活動概況

- ・噴気など表面現象の状況（図 1、図 2、図 3 - ）
剣ヶ峯に設置している監視カメラによる観測では、山体北側火口壁の噴気の高さは 50m 以下で、噴気活動は低調に経過しました。櫛ヶ峰に設置している監視カメラによる観測では、沼ノ平周辺に噴気は認められませんでした。
- ・地震や微動の発生状況（図 3 - ~ ）
火山性地震は少ない状態で経過しました。
火山性微動は観測されませんでした。
- ・地殻変動の状況（図 4、図 6）
火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。



図 1 磐梯山 山体北側火口壁の噴気の状況
（6月13日）

- ・剣ヶ峯（山頂の北約 7 km）に設置している監視カメラの映像です。
- ・実線赤丸で囲んだ部分が山体北側火口壁からの噴気で、この時観測された噴気の高さは 50m です。



図 2 磐梯山 沼ノ平周辺の状況（6月29日）

- ・櫛ヶ峰（沼ノ平の北東約 600m）に設置している監視カメラの映像です。

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成29年7月分）は平成29年8月8日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土地理院及び東北大学のデータも利用して作成しています。
本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平 26 情使、第 578 号）。

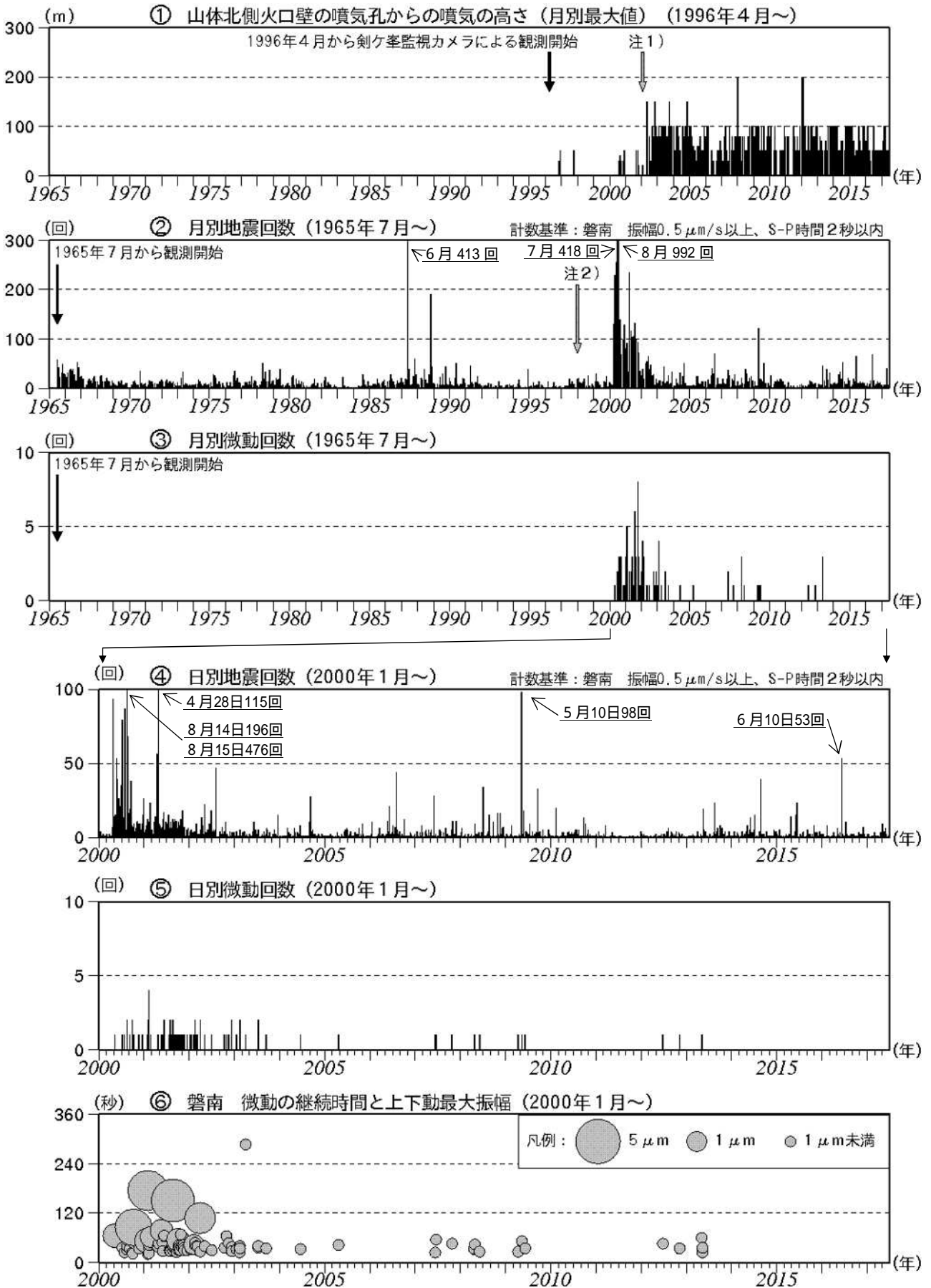


図3 磐梯山 火山活動経過図（1965年7月～2017年6月）

- ・ 注1) 2002年2月以前は定時(09時、15時)及び随時観測による高さ、2002年3月以後は24時間観測による高さです。
- ・ 注2) 1998年より計数基準をS-P5秒以内からS-P2秒以内に変更しました。

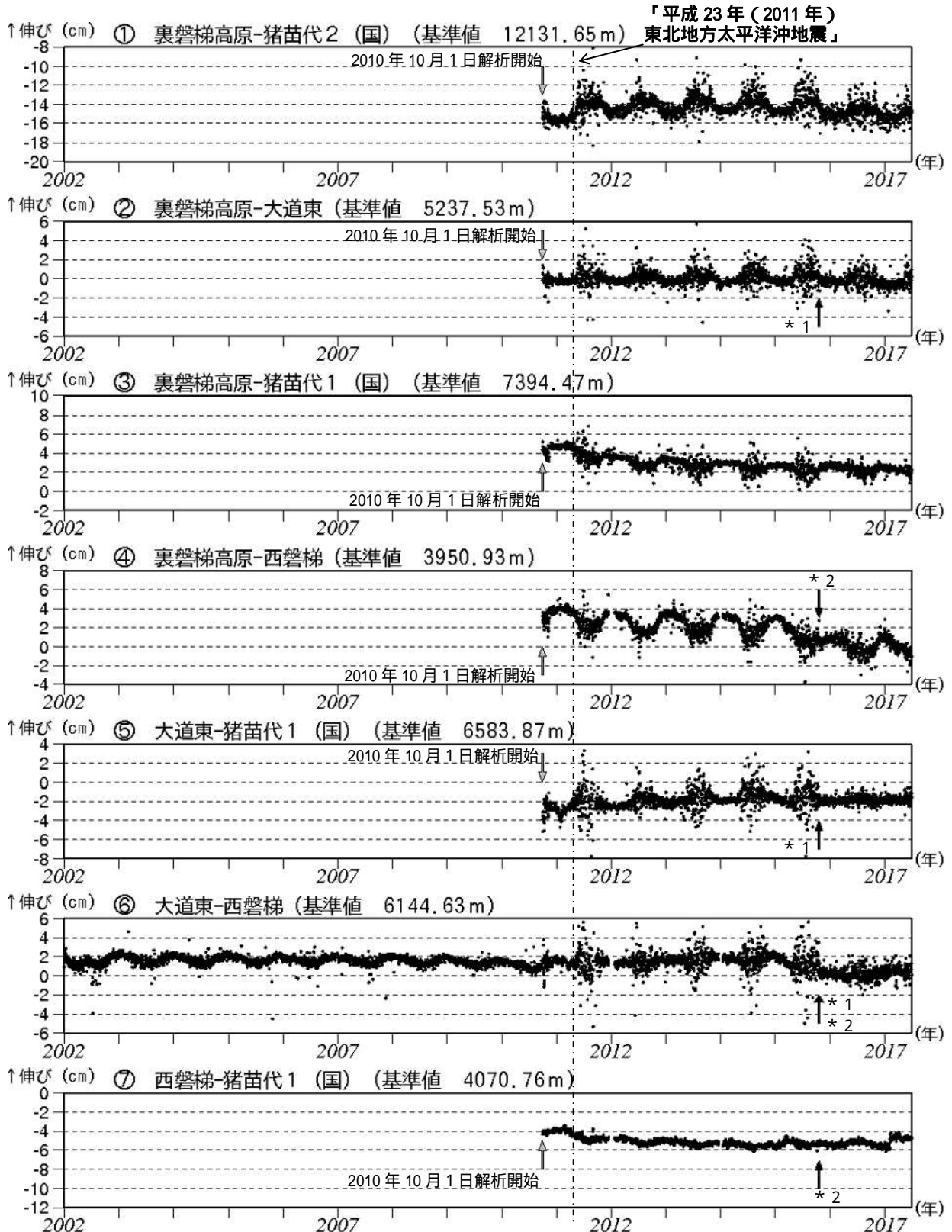


図4 磐梯山 GNSS¹⁾基線長変化図（2002年1月～2017年6月）

- ・ 2010年10月以降のデータについては、電離層の影響を補正する等、解析方法を改良しています。
- ・ 「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」に伴うステップを補正しています。
- ・ ~ は図6のGNSS基線 ~ に対応しています。
- ・ グラフの空白部分は欠測を表しています。
- ・ 各基線の基準値は補正等により変更する場合があります。

* 1：大道東観測点、* 2：西磐梯観測点の機器更新及び移設を行いました。

- ・ （国）は国土地理院の観測点を示します。
- 西磐梯観測点に起因する変化で、火山活動によるものではないと考えられます。

1) GNSSとはGlobal Navigation Satellite Systemsの略称で、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示します。

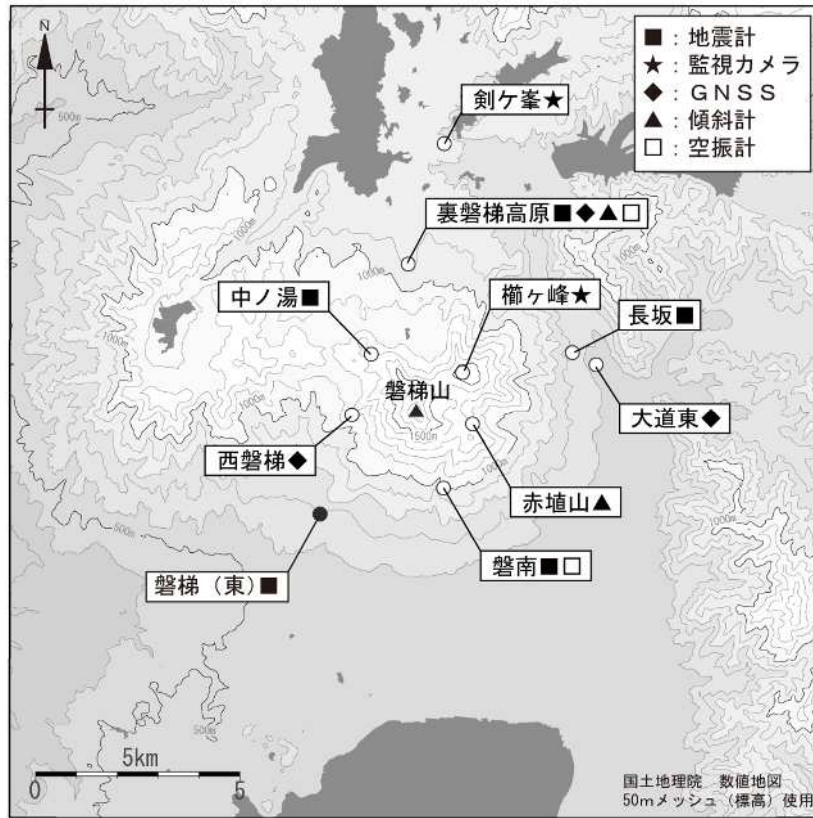


図5 磐梯山 観測点配置図

小さな白丸 () は気象庁、小さな黒丸 () は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

(東) : 東北大学

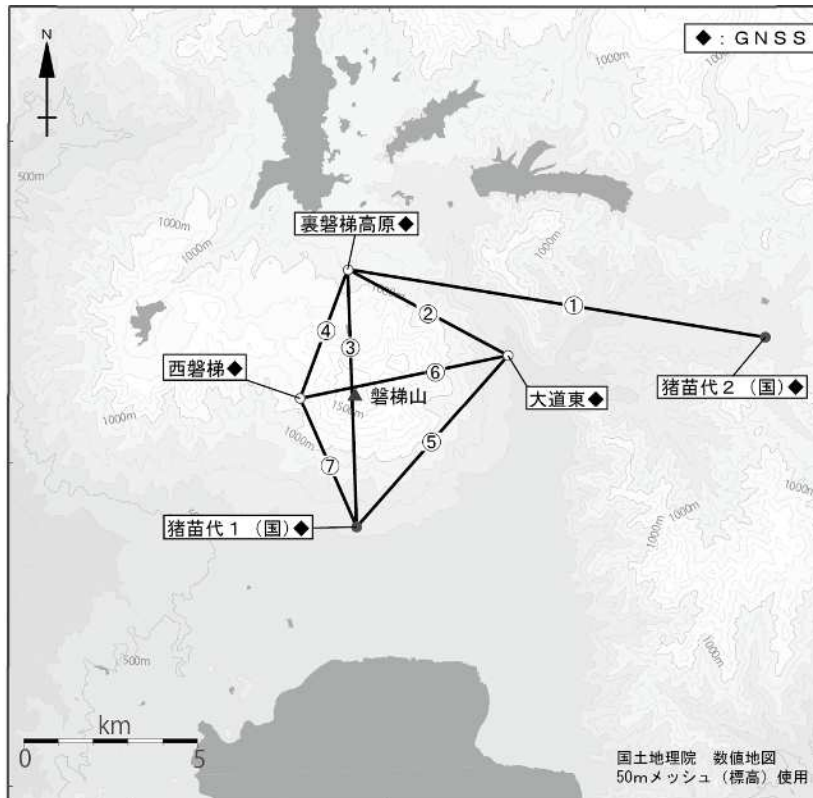


図6 磐梯山 GNSS 観測点配置図

小さな白丸 () は気象庁、小さな黒丸 () は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

(国) : 国土地理院